

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和08年03月30日
計画の名称	宇都宮市における安全で安心な公園づくりの推進（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	宇都宮市											
計画の目標	・安全で快適な住環境を創出するため、老朽化した公園施設を適切に改築・更新を行い、子どもから高齢者まで誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを推進する。 ・広域避難地に位置づけられる八幡山公園の防災機能向上のために、災害時の速やかな避難経路となる周遊園路整備、及び園路をはじめとした公園施設の安全性確保のための法面工を整備することで、安全で安心な防災拠点づくりを推進する。 ・高齢者、障害者等が安全に安心して公園施設を利用できるように、園路広場及び便所をバリアフリー化する。											
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,050	A	2,050	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年	令和4年	令和6年
1	・R6年度末までに399箇所の都市公園において、公園施設長寿命化計画に基づく都市公園施設の改築・更新を行い、健全な公園数の割合を21.7%から100.0%に増加させる。			
	都市公園施設の改築・更新を行った健全な都市公園の割合を算出する。	45%	81%	100%
	健全な公園数の割合＝改築・更新を実施した公園数（399公園）／改築・更新が必要な公園数（399公園）			
2	・八幡山公園東側において、園路及びその他公園施設の防災機能向上に資する法面工を整備した割合を45.4%(R2)から70.7%(R6末)に増加させる。			
	八幡山公園東側の防災機能向上に資する法面工を整備した割合を算出する。	22%	63%	92%
	防災機能向上に資する整備割合＝法面工を整備した面積（28,266㎡）／公園東側の安全性向上に必要な整備面積（30,600㎡）			
3	・公園施設のバリアフリー化を実施した公園の割合を0%から100%に増加させる。			
	公園施設のバリアフリー化を実施した都市公園の割合を算出する。	0%	0%	100%
	バリアフリー化を実施した公園数の割合＝バリアフリー化を実施した公園数（9公園）／バリアフリー化が必要な公園数（9公園）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
改築・更新を実施した公園数R2当初：181公園R4末：324公園R6末：399公園法面工を整備した面積R2当初：6,634㎡R4末：19,113㎡R6末：28,266㎡バリアフリー化を実施した公園数R6末：9公園												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	遊具の改築更新	宇都宮市	■	■	■	■	■	539		策定済
		(平成23年3月)																	
	A12-002	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	-	-	都市公園事業(八幡山公園)	周遊園路整備，法面整備	宇都宮市	■	■	■	■	■	782	1.6	-
	A12-003	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業（５か年老朽）	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改築 N＝4公園	宇都宮市	■	■				61		策定済
		(平成23年3月)																	
	A12-004	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	-	-	都市公園事業（八幡山公園）（５か年防公）	災害時に広域防災拠点となる 防災公園整備 A＝11.8ha	宇都宮市	■	■	■	■	■	603	1.6	-
	A12-005	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	公園施設のバリアフリー化	宇都宮市				■	■	65		策定済
										小計						2,050			
										合計						2,050			

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（宇都宮市公園管理課）にて評価を実施	令和7年度
	公表の方法
	宇都宮市HPにおいて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・老朽化した遊具の改築や更新を実施したことにより，利用者の確保に加え，施設の充実度が高まった。 ・子どもからお年寄りまで幅広く利用できるよう，子供遊具の設置のほか中高年の方でも楽しく利用できる健康遊具を，遊具の改築・更新にあわせて設置した。 ・広域避難地である八幡山公園において，土砂災害警戒区域に指定された東側区間の法面工事が完了したことにより，安全・安心な防災公園の整備を推進できた。 ・トイレや出入り口等のバリアフリー化の実施により，高齢者、障害者等が安全・安心に利用できる公園整備を推進できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

- ・公園施設長寿命化対策支援事業については，長寿命化計画に基づき適切な維持管理に努めるとともに，施設の健全度調査を行いながら計画的な改築更新を実施する。
- ・都市公園事業（八幡山公園）は，整備箇所の優先順位を定め，計画的に法面工を整備することにより，安全で安心な防災拠点づくりを推進する。
- ・都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業については，子どもから高齢者，障がいをお持ちの方など，誰もが安全に安心して公園施設を利用できるよう，公園施設のバリアフリー化を継続的に実施する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	都市公園施設の改築・更新を行った健全な都市公園の割合を算出する。		
	最 終 目標値	100%	財政状況等により当初計画していた公園と実施した公園の差異が生じたが，健全度調査結果を踏まえながら改築更新が必要な施設から順次進めており，公園の安全性は確保されている。
	最 終 実績値	76%	
2	八幡山公園東側の防災機能向上に資する法面工を整備した割合を算出する。		
	最 終 目標値	92%	緊急性を勘案し，補正予算等を積極的に活用することにより，計画以上のスピードで整備を実施することで，前倒しで整備を完了することができた。
	最 終 実績値	100%	
3	公園施設のバリアフリー化を実施した公園の割合を0%から100%に増加させる。		
	最 終 目標値	100%	財政状況等により当初計画していた公園と実施した公園の差異が生じたが，高齢者，障がいをお持ちの方等など，誰もが安全・安心に公園施設を利用できるよう，次期計画において整備を継続していく。
	最 終 実績値	78%	